

「情報I」に向けたプログラミング研修会

~情報デザイン -画像処理編~

アシアル株式会社 アシアル情報教育研究所 岡本 雄樹



https://edu.monaca.io/ Copyright © Asial Corporation. All Right Reserved.

情報デザインの実装技術

Copyright © Asial Corporation. All Rights Reserved.

情報デザインの実装技術 画像処理について

■ 画像処理について

└ ベクタ画像とラスタ画像の違い

レイヤーについて

ラスタ画像 ベクタ画像 (ビットマップ画像) 線や多角形、円などの数式 点の集合

	ベクタ画像	ラスタ画像
メリット	拡大や縮小に強い	小さい画像なら小さいデータ量 で表現可能 表示
デメリット	表示の際に計算が必要	拡大すると粗くなる
主な用途	イラスト、フォント、スライド の文字や図形、フローチャート など	写真、手書きの絵、濃淡がある 複雑な画像
主なファイ ル形式	svg	png,jpg,bmp

■ ベクタ画像の例

ANDのベン図



論理演算と二進数の足し算

https://anko.education/joho/programming/logical

■ ラスタ画像の例①



■ ラスタ画像の例2



micro:bitが搭載する5x5のLEDはビットマップ表示の良い例

■ ラスタ画像の例3

モニタも基本的にはビットマップ表示です





■ レイヤーとは?

- ・ 複数の画像を重ねて | つの画像を作る考え方です。
- ・例えば、長野の雄大な自然を背景画像とし、その上に、
 人の画像やリンゴの画像を重ねたりして、宣伝用のイメージ画像を作ったりします。
- 人やリンゴの画像は、予め、輪郭に沿って『きりぬき』
 をしておき、余計な部分は透明にしておくことで、背景
 もちゃんと表示されます。

■ レイヤーの一例

イメージウインドウ画面 レイヤーパネル





■ レイヤー操作体験

ブラウザで動作するラスタ系画像編集ソフトを使います



https://viliusle.github.io/miniPaint/





■ レイヤー操作体験ステップ

- ・レイヤーを3つ作成し、それぞれタイトルを設定
 - レイヤーI:background(背景画像)
 - ・ レイヤー2:model (モデル)
 - ・ レイヤー3: copy (コピー)
- ・各レイヤーに素材を流し込み適当な位置に配置
- ・ 合成結果をPNG画像としてダウンロード

■ 画像の追加(背景)

・ 画像を追加するとレイヤーが自動生成される



■ レイヤーの名称変更

レイヤー名:background



■ 画像の追加(人物)

・ 画像を追加するとレイヤーが自動生成される



■ レイヤーの名称変更

レイヤー名:model





人物のオブジェクトをドラッグ



■ テキストの入力

テキストツールで配置したい場所をクリックして
 Sizeを100にし、「Nagano Apple List」と入力



■ テキストカラー変更

- ・文字列をハイライト
- カラーピッカーで白(#FFFFF)を選択

Copyright © Asial Corporation. All Rights Reserved.

画像処理について

■ レイヤーの名称変更

レイヤー名:copy

■ 完成!ダウンロード手順

- File → Export から「JPG」を選択して画像出力
- ・出力された画像はダウンロードフォルダに格納される

Export	② ファイル名を「keyVisual」にしてOKを選択
File name:	keyVisual
Save as type:	 PNG - Portable Network Graphics JPG - JPG/JPEG Format WEBP - Weppy File Format GIF - Graphics Interchange Format BMP - Windows Bitmap TIFF - Tag Image File Format
Quality:	90
File size:	
Show file size:	Toggle
Save layers:	 All Selected Separated Separated (original types)
	Ok Cancel